



DAMANHUR
ダマヌール日本ニュースレター

ぽぽろ

POPOLO



冬号

《 第40 冬号 》

発行 ダマヌール日本

発行日 2016年12月15日

<http://damanhur.jp>

命をいただくということ ～食と滋養～



**あなたは、より良く生きることの大切な要素として、食べることを意識していますか？
食べることは癒しであり、予防であり、治療であり、精神性と密着した行為だと思いませんか？**

「あなたが何を食べているか語ってください。そして私はあなたがどんな人か語りましょう」

これは古代の偉大な哲学者たちの言葉です。あなたの食べているものは、あなたについて語れるほどあなたを作り上げているのです。二人に一人がガンにかかると言われている現在、あなたは何を食べていますか？ コンビニやスーパーに行けば、簡単にお弁当が手に入り、健康に良いと言われるサプリメントが溢れ、テレビでは病気の予防や治癒に至るための健康に関する番組が人気です。でも、精神的な滋養については語られていないように思います。私たちは、肉体以外にオーラと呼ばれるエネルギーの体や魂という部分があってこそ、命の存在として生きていけるのです。それなら、肉体以外の部分の滋養やバランスについても考えることが不可欠ではないでしょうか？

私たち人間も、動物や植物も、その土地の磁場やエネルギーや光に滋養されて生きている命の存在です。

あなたの体やオーラが一番馴染む環境は、生まれた土地や長く生活している土地の磁場やエネルギーの流れです。ですから、伝統的な身土不二という考え方は、よく生きるための基本と言えます。自然に即して、自分の住む土地で食物を栽培して食することは、物質的にも精神的にもより良いバランスを実現することへの鍵だと考えます。今日では、グローバル化によって、季節に関わらず、さまざまな生鮮食物が手軽に手にはいります。けれども、遠いところからやってくる食物は、異なった土地のエネルギーのフリークエンスを持ち、収穫してから時間が経てば、生きたエネルギーのレベルは低下しています。それに加えて、防腐剤や防カビ剤などが添加されていることも多いのです。これは、私たちの体に取り込む過程で、毒素を排出するために臓器への負担が多く、滋養となる効率は決して理想的なものではなく、知らずに良いと思って食べていると不バランスに陥ることもあるのです。

ダマヌールの取り組み

ダマヌールでは有機農業(農薬・化学肥料禁止、遺伝子組み換え禁止等)と食物の自給自足を目指し、それぞれのコミュニティにより有機酪農、養鶏、養豚、果樹園、養蜂、野菜や小麦作り等のプロジェクトが何年も前から行なわれています。ダマヌールのスーパーマーケットでは、テリトリー内で生産された野菜等を始めとして有機食品が売られ、天井にはセルフのパネルが設置されて食物のエネルギーが調和的に保たれるようになっています。

ダマヌールでは、多国籍企業が推し進めている遺伝子組み換えの種子による農業に対しては、反対の立場を取っているのです。二十年近く前から種子のバンクの事業は常に継続発展をさせ、現在ではピエモンテ州で一番大きな種子のバンクを実現しています。

また、現在の飛躍プロジェクトとしては、ワイン作りのためのぶどう畑を買い足して、栽培から発酵、瓶詰めまですべてを自分たちで行なえるように事業拡大に取り組んでいます。最近の数年間は、世界的な異常気象によって、作物に病虫害が発生したり、多大なヒョウ被害に何度かあっています。牛たちの飼料のトウモロコシや麦の収穫直前にヒョウが降って、80%の作物を破棄した年もありました。畜産部門で育てる牛や豚や鶏たちも、より健康に育つ条件を満たすように、自分たちの土地で生産した飼料や野菜や草を与えることを基本にしていますし、もちろん、ホルモン剤や抗生物質の投与は行いません。



世界的にミツバチが減少していることは大きな問題と捉えています。アインシュタインはかつて「もしミツバチが消滅することになったら、その四年後には人類が存続の危機に陥る。」と語りました。ミツバチが減少していくことは、自然のエコシステムの連鎖によって、さまざまな種に大きな影響をもたらすことが危惧されています。ですから、ダマヌールの600ヘクタールのテリトリーにある多くのコミュニティでは、ミツバチが健全に生きられる環境を提供して養蜂を常に行ってきました。また、テリトリーにある多くの森を再生させました。そして、栗の木もたくさんあり秋になると栗を収穫しています。今年の栗は甘くてとても美味しいものですが、この地域は伝統的に栗の食文化があります。また、果樹園プロジェクトでは、数種類のサクランボ、杏、リンゴ、桃、ザクロ、ヘーゼルナッツなど多くの果樹を育てています。

また、コミュニティで育てた旬の野菜は、自分たちで消費や販売をするだけでなく、加工食品にして保存し安全な食を維持できるようにしています。



動物も植物も同じ命の存在です

「ダマヌールはベジタリアンですか?」こういう質問をされることがあります。ダマヌールではさまざまなものをバランスよく食べることの大切さを説いています。その人の好み、関わる精神的な仕事や健康上の理由から、ベジタリアンの食事を選択する個人はいますが、多くの市民はベジタリアンではありません。世の中のベジタリアンの中には、動物は食べたらいけないけれど、植物は大丈夫、とそういう見方をしている人が多々います。私たちは、それは違うと考えています。例えば、樹は精神的なレベルから見ると、私たち地球上の人間よりも精神性の高い命の存在です。樹は動物と同じようにはコミュニケーションが取りにくいので、身近な友人であるという認識がされないのです。でも、感情も持っていて人間と共有することもできます。「美味しそう!」と丸ごとかじるリンゴは、叫び声をあげないけれど動物と同じ命の存在なのです。

ダマヌールの創立メンバーの一人で、日本大使を務めるフェニーチェは「自分がどれ程多くの命と繋がっているかに気付き、自分が今ここに存在することが宇宙全体の偉大な調和であり、自分と繋がっている全ての命の存在が同時に貴重なのだという自覚から、他の命が必要としていることを喜びと心を込めて提供することこそが、その人の魂の進化に繋がる」と語っています。

過去において、私たち人類は素晴らしい精神的進化をとげていた時代がありました。その時代の人間の食生活は66,000種類の異なった食物で滋養され、ほとんど病気になる人がいないほど調和的に生きていたそうです。ところが現代では市場原理主義から、食べ物の種類が劇的に少なくなっています。食生活に細心の注意を向けていても、ある種の偏った食生活を余儀なくされています。そういった現状から、ダマヌールでは不調和に陥る前にバランスをとることを大切にし、定期的にプラノセラピーを受けます。



食べた物と共に生きる

ダマヌールでは、豚や牛も飼っています。彼らを命の存在として、尊厳のある生きかたや良い体験ができるように関わります。私たちに命を提供することが必要なときが近づくと、落ち着いて死を受け入れられる期間を待つ肉になってもらいます。そういう関係にあると、動物たちは自分を食べてもらうことも理解しますし、落ち着いて死を受け入れます。良い体験と記憶を持ち、より良い生まれ変わりの可能性が継続するように、マジックな儀式によって加護が得られるようにします。恐怖心や怒りの記憶がない動物の肉は、否定的な感情のフリークエンスがないので、バランスの良い滋養源として私たちの肉体、魂やマインドのエネルギー源となります。

野菜でも、トマトはトマトとしての体験があり、私たちはトマトを食べると物質の部分は消化されて栄養素として取り入れますが、トマトの精神的な体験や記憶は私たちの細胞の中に残り滋養となるのです。

植物や動物も人間も、自然界のエコシステムの中で生きています。この中で、私たちは、さまざまな植物や動物を食べることで、物質的にも精神的にも滋養されて、魂を磨いて進化するために生きるのです。滋養となってくれた植物や動物は、体験や記憶や調和的な感情も一緒に、私たちの中にその意識を宿らせます。そして、私たち人間の意識の進化の可能性をもたらす要素として、私たちの中に蓄積されるのです。

ダマヌールでは、より自然と調和した環境で植物を育て、心地よい体験の記憶がもてるようにとの配慮から、クラシックやダマヌールの音楽を植物が聞ける環境にしたいと、大規模農業を実践している温室に新たに音響設備を設置しました。どんな命の存在であっても、生きていたときの体験を保存して次の命に繋がっていくように、マジックな知識に基づいた儀式を行います。



共に食卓を囲む

ダマヌールで採れた安全で新鮮な食物を地域の人々に提供して、ダマヌールの考えや新しい考えを広めたいとの思いから、レストラン「タラッサコ」が営業されています。このレストランは予約制で、結婚式やさまざまな集いに利用されています。



美味しい食事は幸福感を与えてくれます。友だちや家族と楽しい食事の時間を持つことで得られる満足感や幸福感は、明日への活力となり、精神的にも肉体的にも、より健康でポジティブなライフスタイルをもたらします。ですから、ダマヌールではできるだけみんなが揃って一緒に食卓を囲むことを日々実践しています。そうすることでお互いのコミュニケーションを育て、各自が持つエネルギーをオーラを介して交流し、滋養することにも繋がります。

そして、せっかくさまざまな命をいただくのですから、食事の際にはその命と共にそれを育てた人や調理した人に感謝をしたいものです。同じものを食べても、どんな態度で食べるのかにより大きな差があるのではないのでしょうか。



現代の不調和

現代社会において、利潤のために家畜を身動きできない狭い畜舎に入れて、成長ホルモンや抗生物質で育てられ屠殺される工場畜産が拡大しています。

しかし、植物や動物が命の尊厳なく物として扱われ、苦痛や恐れや怒りや悲しみの体験だけで存在していたら、私たちが彼らを食べるときにとんでもない不調和を取り込み、不調和を排除していくために多くのエネルギーを使わなければなりません。

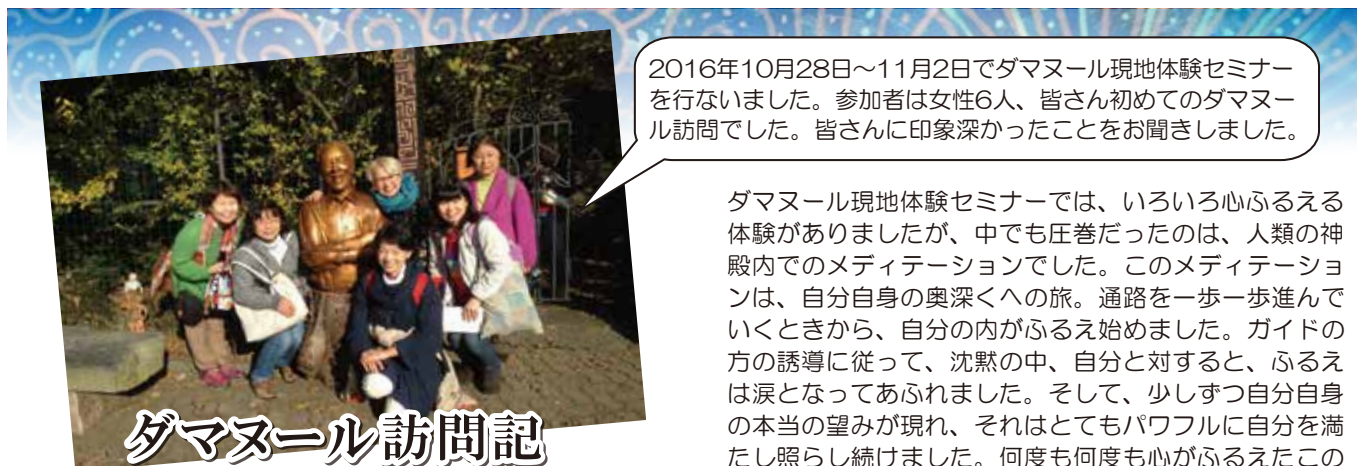
また、農作物の大量生産に見られる農薬や化学肥料の使用と土壌汚染を始め水の大量消費、耕作放棄地の問題などは深刻で、農業が環境に及ぼす影響は大きいものがあります。さらに遺伝子組み換え食品、食品の偽装表示、放射能汚染など食に関する安全性は大きく揺らいでいます。でも、そのような中で自然農を始め、無農薬無肥料の農業が大きな関心を集めているのは喜ばしいことです。生育過程がわかり新鮮で安全な食物を摂るには、自給自足が不可欠です。そして、私たちが食に対して高い関心と正しい知識を持ち、何を望み、何を選んで食べるかでも地球の環境が変わってくると思います。

腸は第二の脳

秘教的な知識の中では、腸は第二の脳とみなされていましたが、最近では、腸は考えることができる臓器という研究結果が語られるようになりました。幸せホルモンと呼ばれるセロトニンは90%が腸で作られていることが突き止められ、腸内環境を整える重要性も報告されています。ですから、食物繊維や発酵食品などを摂り、適度な運動で排泄を良くして腸のバランスを整えることは免疫力を高めてより健康でいられることに繋がります。



新鮮で安全な食物を摂り、心身ともに健康に生きることは私たちの願いです。私たちの食べ物となる動植物にも思いを馳せて、彼らの分までより良く生きたいものです。



2016年10月28日～11月2日でダマヌール現地体験セミナーを行いました。参加者は女性6人、皆さん初めてのダマヌール訪問でした。皆さんに印象深かったことをお聞きしました。

ダマヌール訪問記

ダマヌールでは、4日間に渡るプログラムが用意されていました。神殿見学⇒聖なる森⇒ヒーリング⇒コミュニティー訪問。楽しみにしていた事は、聖なる森で自然に触れる事でした。山あいの街ダマヌールなので、どこに行っても風景が美しく、自然のパワーを堪能しました。一番印象的だったのは、3日目の神殿内「鏡の間」でのグループヒーリング。鏡に写る自分を見つめ、瞑想したり、声を出したり…自分を解放させる素敵な時間でした。ダマヌールでは言葉の壁を感じる事なく、何の不自由もなく過ごせました。(M.M)



ラセンを歩いていくと2つに分かれる道がありました。直感は右へ進む…と閃いたのですが、なぜか左を選んで歩いていました。歩いているうちに心配になり「直感に従うべきだったか」と思いましたが、この道でもラセンの中心に行けると分かりました。途中で滑りましたが、中心に着くと、優しいエネルギーを感じて、樹や草も暖かく優しく迎えてくれました。神殿に入ったときも、歓迎されているのを感じて嬉しかったです。そして、ダマヌールの人たちは、たくさんの仕事をして良く働くのだなあと感じました。(T.K)



一番楽しみにしていた神殿の見学では、エネルギーを体で感じる事ができました。神殿の中の鏡の部屋での瞑想やヒーリングはゆっくりと自分のことを考え、涙も流し、随分癒されました。案内していただいたコミュニティーの果樹園やエコのシステムも参考になりました。同行した仲間たちは、共にセミナーで勉強している人たちだったので、刺激を受け、大切なことを教えられました。お蔭様で、気になっていたことがやり遂げられたという、すっきり感と充実感が気持ちよく残りました。(S.K)

ダマヌール現地体験セミナーでは、いろいろ心ふるえる体験がありましたが、中でも圧巻だったのは、人類の神殿内でのメディテーションでした。このメディテーションは、自分自身の奥深くへの旅。通路を一歩一歩進んでいくときから、自分の内がふるえ始めました。ガイドの方の誘導に従って、沈黙の中、自分と対すると、ふるえは涙となってあふれました。そして、少しずつ自分自身の本当の望みが現れ、それはとてもパワフルに自分を満たし照らし続けました。何度も何度も心がふるえたこの体験は、せわしない日常に戻った今も私の中に明るく強く残っています。(M.N)



今年に入り、4つのセミナーを学ばせていただいた後だったので、目に見える実態と、見えない何かとを、ともに、実際感じられ、百聞は一見にしかずの、貴重な輝く体験でした。イタリアの田舎の世界だけでも、日本の蛙の視野を転換させてくれます！その文化の中に咲いたダマヌールは比類なき存在です。人間の可能性、人間以外の存在との交流、宇宙の成り立ちとしくみ、コミュニティーの在り方、自然との本当の調和、変化し続けること、たくさん学ばせていただきました。(R.H)



ダマヌールについて何も知らなかった私は、ただただジュゴンさんのパワーに圧巻でした。しゃべってしゃべってしゃべりまくられるあのパワーは、どこから得られるのでしょうか。日本のことはもとより、世界、宇宙にまたがる豊富なテーマについて、通訳時だけでなく食事時間や難しい外国での運転中にも、熱く語って下さいました。騙されたと思って、自分自身の変化(精神性成長?)を意識しつつ、これからの人生を歩いていこうと思います。(M.S)

来日セミナースケジュール 2017年2月3月

2017年2月3月のセミナー

★【人生を越えて
～より良く生きるために～】
in 西宮 2日間セミナー

開催日：2月18日(土)・19日(日)
時 間：両日とも 10:00～18:00
場 所：西宮市内
参加費：40,000円(事前振込39,000円)

★【ホルスの道】
in 名古屋 2日間セミナー

開催日：3月4日(土)・5日(日)
時 間：両日とも 10:00～18:00
場 所：ウインクあいち
4日 1210号室
5日 1306号室
「名古屋駅」より東へ徒歩5分
参加費：40,000円(事前振込39,000円)

2017年2月3月のミニ講演会

★【人生を越えて
～カルマと生まれ変わり～】
in 神戸 ミニ講演会

開催日：2月17日(金)
時 間：18:30～20:30
場 所：神戸市内
参加費：3,000円

★【地球のシンクロニックライン】
in 名古屋 ミニ講演会

開催日：2月23日(木)
時 間：18:30～20:30
場 所：ウインクあいち 1106号室
「名古屋駅」より東へ徒歩5分
参加費：3,000円

メールマガジン毎週発行中！セミナー情報や
ダマヌールの新着情報などを掲載しています。

ダマヌールのヒーリング プラノセラピー

あなたの人生をポジティブに変化させるダマヌールのヒーリング

プラノセラピーとは

古代からある療法で、ダマヌールの自然医学の中でも基礎となる安全でパワフルなヒーリング。起源的な生命のエネルギー“プラナー”を使い、オーラを介してエネルギーを中継します。

1回：3,000円(約15分)

一般のエネルギーヒーリングとの違い

圧倒的な違いは、ヒーラーがヒーリングを行うことで自身に蓄積するネガティブなエネルギーをダマヌール独自の科学であるセルフ学に基づく技術によって放出することが義務づけられていることです。この放出によって、ヒーラーはニュートラルな状態に戻ることができ、受ける人に対して常に安全でパワフルなヒーリングを提供することができます。

プラノセラピー、こんな方に。

夢を実現したい
人生の喜びを発見したい
身体も心も美しく健康になりたい
スピリチュアルな成長がしたい
短時間でリフレッシュしたい
予防的ヒーリングとして
ヒーラーの自己ケアに

◆ビューティーのプラノセラピー

ダマヌール独自のエステティックなセラピー。個々が内に秘めている、自分本来の神秘的な美しさや自分の深い中心にある清らかさを“プラナー”の働きで表面に表れるようにします。

1回：4,500円(約15分)

●上記セミナー・ミニ講演会・プラノセラピーに関するお問い合わせ

ダマヌール日本神戸センター

0798-23-9161 damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp

ダマヌール日本支援ネットワーク イピアル

052-683-8233 jpjal@crux.ocn.ne.jp

ダマヌールのヒーリング“プラノセラピー”は、以下のところでも受けられます。

飯田市

ガロ(大洞) raven666.shizuka.o@gmail.com

清須市

ジベット(山田) tamatamami325@gmail.com

大阪府

コーギー(前田)

corgi.dhjp@gmail.com

<編集後記> 精神的な視点から、ダマヌールの食の考えと取り組みについてお伝えします。また、現地体験セミナー参加のみなさんの感想から、ダマヌールの片鱗を知っていただけたら幸いです。これから寒さが厳しくなります。備えあれば憂いなし、災害や風邪等の対策の準備や備蓄も忘れずにお過ごしください。(T)

ダマヌールのコミック「記憶のトランク」より(2)

カンファレンスが始まりました・・・

①

なんて野心的なプロジェクト! ところで、あなたたちを駆り立てているのはどんな哲学なんですか?

私たちは、どの人の中にも目覚めさせるべき神様がいてと信じています。そしてそれは他の人たちの助けがあってこそできるのです。

あなたは科学にも興味をおもちのようだ。辺りで張り紙を見ましたよ・・・

メモ
メモ・・・

ええ、それは子どもたちの劇です。彼らもまた探究を楽しんでいます・・・もちろん、彼らのやり方ですね。

世界創造
LA CREAZIONE DEL MONDO

オベルト
アイラウディ
カンファレンス
(実験あり)

素晴らしいわね! このコミュニティは素晴らしい到達点のようだわ。

いやあ、言うなれば一つの良いスタートで・・・

ううむ・・・ではあなたたちの歴史はいつ頃から始まったんだい?

すべては約4年前に始まりました。トリノ中心部の公共のホールで・・・

ようこそ、マリア・テレサ!

②

それは1975年でした。この時期トリノでは古代のマジックな伝統がとでも力をもっていて、多くの秘密的な探究グループが活動していました。

ハア・・・ハア・・・やだわ～すごい遅刻!

?!?

変ね・・・こんなこと聞いてないけど・・・

着いたわ! まだ始まっていないといふ・・・

木曜・21時
オベルト
アイラウディ
カンファレンス
(実験あり)

まあ、入ってきましょう! 2時間が無駄にならないように願うだけだわ。

皆さん、ようこそ! 皆さんにすばらしい才能をもった若者を紹介します・・・彼はオベルト・アイラウディ、今夜から・・・

へっへっへっ! 君たちを驚かすことがあるんだ。

・・・私たちはたびたび彼と会おうと思っています!

③

彼を見るととても若くて、誰もそのことを言わなかったということですが、でも数週間うちにもその「若者」はすべての会合の主役になりました。

僕にはまったく興味を引くタイプには思えないね。

ちょっとあなた、この人をご覧なさいよ・・・実に不愉快な態度!どこで見つけてきたのやら・・・

ああ、そう?言葉だけじゃ信じられないな。

私たち人間は、習慣的に思っているよりもはるかに大きい力があり、神の原理さえも内包している・・・

うぐぐ! 聞かなかったことにしよう・・・

・・・私たちがもっているのは皆さんご存知の五感だけではないからです。私たちのよりサルな能力を使うと非常に異なったやり方で現実を知覚することができ。

1時間後

突技に移りましょう。

ねえ、君、なんとばげたことか・・・

皆さん、曲げたいモノを選びましたか? よろしい、目を閉じて深呼吸を始めて、そして集中し始めてください・・・

④

会が終わって

君は何が起こった? 僕は何も気がつかなかった・・・僕にとっちは全部でたらめだ!

みなさん、じゃあね!

次のカンファレンスでね・・・お休み!

どこに入れたっけ? ちゃんとここに持ってきたけど・・・

まあ、私はこの3本の万年筆が手の中で曲がったのを見たわ・・・

ねえ! おもしろい会合だったわね?

ああ、あつ!

えっ、どうした? 入らないぞ???

ああ、あつ!

ああ、あつ!

えっ、どうした? 入らないぞ???

おい、エウジェーニオの車、トラブルみただぞ。乗せてあげようか・・・でも急いでるし、遅くなるな・・・

ありえない! この鍵に何がおこった? ちょっと見てよ・・・

・・・おおお、なんてこった!

僕の新しいスーパーエグゼクティブクロックが! 私い終わったばかりなのに・・・

でもさ! 僕には何も起きなくてよかったよ・・・

くすっ(囁)

チグブROOM BROOC

次号、トリノのホルスセンターで・・・